

バスドライバーインタビュー（ドライバーKさん）



Kさん（入社3年）

所属：関越交通株式会社渋川営業所（群馬県渋川市）

★全営業所合計で、20代前半の運転者が4名、20代後半の若手運転者が3名在籍しています（取材当時）。県内外問わず高校や専門学校への訪問活動等を行い、積極的に若年層の採用活動を行っている会社です。

バスドライバーになったきっかけ

★ 元々父が鉄道の運転士をしておりまして、その影響もあってか、小さな頃から交通事業に興味を持っていました。色々な交通事業の中で、バスドライバーは鉄道のように仕事をしながら色々な観光地に行くことが可能であり、もともと運転や旅行が好きな自分にとって最も魅力的であったため、バスドライバーを志望しました。

入社前に、業界やドライバーに対して抱いていたイメージは？

★ 仕事で色々な観光地へ行けるという良いイメージもありましたが、やはり就職前は不安も持っていました。特に、バスの運転技術に対する不安や、お客様と笑顔で接することが出来るか、という接遇面での不安が大きかったです。

実際に働いてみての印象や、職場の雰囲気などは？

★ 自分が所属している渋川営業所は、20代の職員は私だけですが、休み時間等には年齢関係なく、趣味の話等で盛り上がっています。仕事面においても、わからない事があればすぐに相談出来る雰囲気になっています。実際に、相談すると先輩方に優しく応じていただいております。



バスドライバーインタビュー（ドライバーKさん）

休暇の取得状況は？

- ★ 休暇は取りやすいと言えますね。年末年始といったお休みシーズン以外にも、年休を申請するとすんなりと受理されます。自分は茨城県が地元なのですが、帰省したいと思った時に有効活用しています。採用直後は、若手なのに年休を取得してよいものか迷って先輩に相談したこともありました。その時に、先輩が笑って「大丈夫、大丈夫」と言ってくれたことが、今の申請のしやすさにつながっています。

仕事で心がけていることは？

- ★ 前橋や高崎等、高齢のお客様が多数乗降されるエリアにおいて、バスが止まってからの移動を促すアナウンスや、静かな発進・停車を心掛け、車内事故等が起きないように努めています。自分の声掛けや運転の仕方によって、お客様の反応が異なってくるケースも多いので、気を引き締めて対応しております。

仕事でのやりがいや嬉しかったことは？

- ★ ドライバーとして就職する前の人生においても、人から感謝された時は強い喜びを感じていたので、自分の仕事でお客様から「ありがとう」等と感謝の言葉をいただいた時の喜びはひとしおですね。また、自分が運転している姿を見られたお客様から「他の運転手さんより若いのに頑張っているね」とお褒めの言葉をいただく機会もあり、その度にやりがいを感じています。



バスドライバーインタビュー（ドライバーKさん）

仕事で困ったことや苦勞したことは？

- ★ ドライバーになりたての頃は、決められたダイヤ通りに運転しなければという意識が非常に強く、時間を守るために、運転が荒くなってしまうことも多々ありました。結果的に運行管理者経由でお客様から注意を受け、以後時間だけでなく安全を考慮した運転に切替えることに苦勞しました。その他、こちらの意思がお客様へ伝わらないケースに直面する場面もあり、苦勞を重ねています。



今後の目標や、自分が目指す将来像について

- ★ 今現在は、路線バスやスクールバスの運転を担当しておりますが、まずは今後担当可能な路線を増やす等、仕事の幅を広げることが目標です。将来的には、運行範囲がより広い、貸切バスの運転を任されるドライバーとしてステップアップしていきたいと考えております。



バスドライバーを目指す方へメッセージ

- ★ 少しでもバスを運転したいと考えている方や、人を相手にした仕事をしてみたいと思われている方は、バス会社も就職先の一つとして視野に入れていただけたらと思います。職場としてのイメージが湧かない場合は、バス会社の営業所への訪問をご検討ください。自分も会社選びの際に、いくつかバス会社を訪れ、事務所の対応や待機時間におけるドライバー同士のやり取りから、バス会社の雰囲気をつかみました。足を運んで、ホームページだけではわからない自分に合ったバス会社を見つけていただければ幸いです。